

デジタルリテラシー向上に係る研修動画コンテンツ等提供・作成委託業務  
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和5年6月5日 13時05分から15時10分まで
2	場 所	広島県庁本館3階302会議室 ※提案者はZoomにより出席
3	出席委員	総務局 DX推進担当部長 総務局 人事課行政経営担当監 総務局 デジタル基盤整備課課長 総務局 広島県自治総合研修センター総括研修企画監 商工労働局 産業人材課課長
4	議 題	デジタルリテラシー向上に係る研修動画コンテンツ等提供・作成委託業務 公募型プロポーザルに係る第2次審査（プレゼンテーション審査）について
5	担当部署	総務局 DX推進チーム
6	開催方法	参集（オンライン併用）
7	議事内容	<p>選定委員会において、提出された企画提案書を基にプレゼンテーション審査を行い、第1次審査及び第2次審査の結果、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>A社：株式会社UZUZ B社：株式会社MAP C社：株式会社東京リーガルマインド広島本校</p> <p>各選定委員の主な評価・選定理由については、次のとおりである。</p> <p><b>【A社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的にバランスよく構成されているが、県で何か求めた場合にも、既存の内容の組換えのみの対応しかできないように思われる。</li> <li>・ 安定的な運用が見込まれる。</li> <li>・ 資料だけでは窺い知ることができなかった点が明らかになり、評価が高まった。優れていると評価できる。</li> </ul> <p><b>【B社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本業務の目的の範囲内での提案となっており、動画やテキストにおいてレイアウトの工夫等はみられるが、ITパスポートに合格するた</li> </ul>

めの優先順位付けと、最終的にどのような人材を育成するのかという目的が一致しているかどうかの評価しにくい。

- ・ 受験対策としての要素が極めて強く、本来必要な知識の習得が十分にできるかどうか疑問がある。
- ・ 動画コンテンツは分かり難い。
- ・ 動画に対する受講生の評価が分かれるかもしれない。
- ・ コンテンツはシンプルでわかりやすく好印象であるが、ITパスポート合格に人材育成の目線が置かれていることが懸念点である。全体としては優れていると評価できる。

#### 【C社】

- ・ 本業務の目的を踏まえた提案になっている。他方、優先順位付けに関し、基準として掲げた実際の業務の重要性との関係が不明瞭であり評価しにくい。
- ・ 県の意向を踏まえてのカスタマイズが可能であると考えられる。テキストや確認テストが充実しており、受験対策というだけでなく本質の理解が期待できる内容となっている。
- ・ 広島県の実態に合ったコンテンツ作成が可能である。実際の業務場面を想定している。シラバス最初のオリエンテーションの提案も有効と思われる。
- ・ 行政への取り込み内容は、ベンダーとのやりとりができるような人材育成の内容というのはよい。自治体の状況をよく聞き取って作成できると思われる。
- ・ 資料による審査から大きく印象は変わっていない。全体として手堅くまとまっており、優れていると評価できるが、オリエンテーションのほかは提案に独自性がなく、テキストの文字が多いところも懸念点である。